

令和5年4月

春の暖かさと共に、新型コロナウイルス対応が平常化 それと反対に値上げの波と共に迫るインフレの足音

桜の満開に浮かれているうちに、4月に入りました。

新型コロナウイルスの方もインフルエンザと同じ5類扱いに変わるようで、こちらも長かった3年が過ぎ、ようやく平常に戻ってきたようです。しかし、経済の方は不安定さを増し、皆様の経営の方にもいろいろ影響を及ぼしてきているのではないのでしょうか。中でも電力やガス、石油といったエネルギーの値上がりによるコストアップはこの企業にも直接的な減収要因となり、対応に追われておられることと思います。



さて、今回は鉄道各社による運賃の値上げについてみていきたいと思います。JR や大手私鉄において消費税増税以外での運賃改定は、二十数年ぶりです。運賃改定への対応準備はどんなことが必要なのでしょう？ 4月1日に運賃改定が行われる鉄道事業者の場合、4月1日開始の定期券は、4月1日に購入すると新料金ですが、3月31日までに購入すれば旧料金で購入することができました。従って、旧料金と新料金が混在している状況で、主な運賃改定は以下のとおりです。

【大 阪】

(JR) 2023年4月1日購入分から、大阪・神戸・京都・宝塚間のいわゆる特定区間運賃の改定区間について、通勤定期のみを見直ししている区間と、普通運賃およびそれに基づく通勤定期運賃を見直ししている区間が混在しています。
(関西私鉄)南海以外は2023年4月1日から、南海は2023年10月1日から値上げとなります。

【金 沢】

(IR 石川鉄道)2015年3月の新幹線金沢開業で、金沢以東の JR 北陸線(当時)は IR いしかわ鉄道の運営となり、2024年春の新幹線敦賀延伸時に金沢以西も加わる予定です。金沢以東区間は2024年春の運賃変更はありませんが、金沢以西は2024年春に値上げの方向です。
(北陸鉄道)2023年1月31日に値上げ申請をしていますが、改定実施日は調整中です。

運賃改定への通勤手当の対応準備

- ① 改定運賃を社員からの申請で対応している会社
多くの会社は、こちらの対応かと存じます。申請した人の分だけ処理をするので、取り掛かりは楽ですが、対象者が誰なのか、全員が申請したのかどうかの把握が難しくなります。
- ② 管理部門で変更対応している会社
申請承認のプロセスを省くことができ、社員からの申請を待つ必要はありません。しかし、4月1日前後の購入の他、対象路線、駅名を把握する必要があります。